

令和4年度サッカーキャンプ誘致戦略推進事業 (受入市町村促進事業) ＜概要版＞



令和5年3月
沖縄県

受入市町村促進事業の趣旨

沖縄県では、沖縄観光の新たな魅力の創出や着地型観光の拡充等を図るため、スポーツツーリズムを推進しており、現在、国内外から多くのプロサッカーチーム等のスポーツキャンプが集積し、日本有数のキャンプ地を形成している。

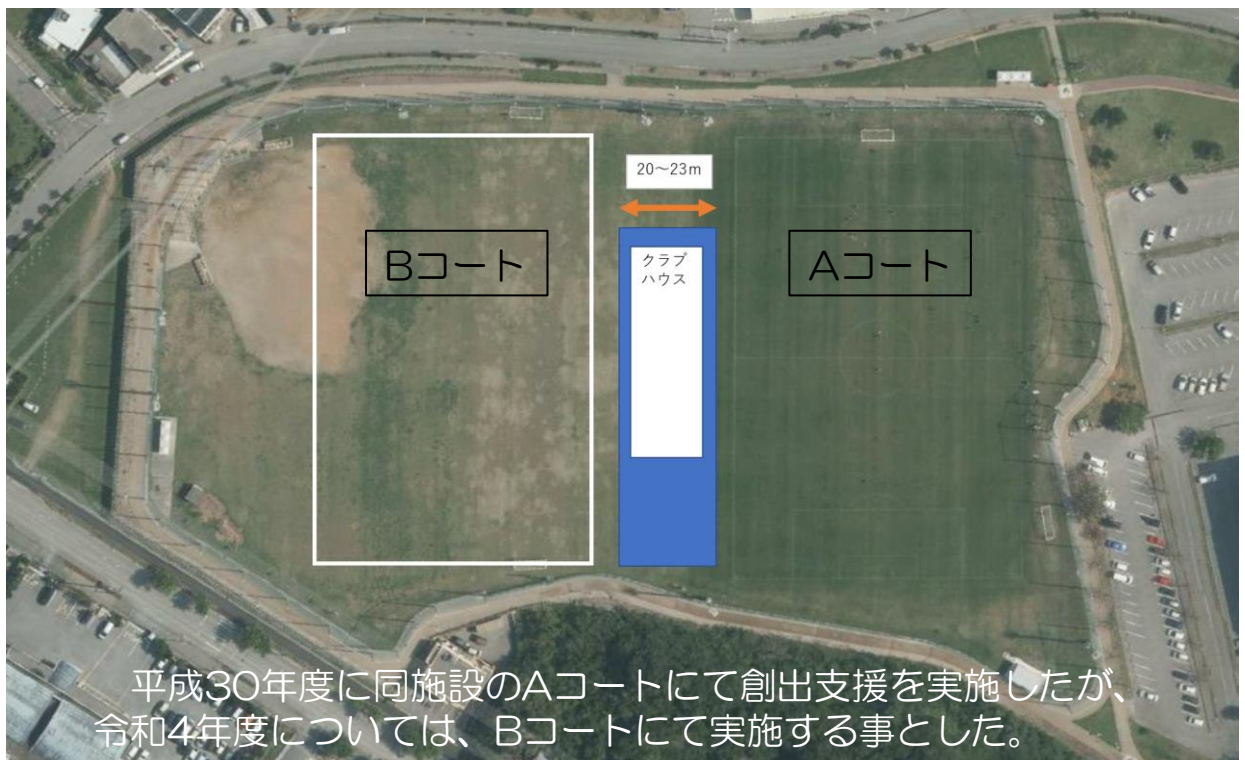
一方で、本県でキャンプ実施を希望するチームは多くあるが、受入可能な施設は限られているため、県内施設のインフラ整備等を行い、キャンプ受入体制を強化する必要がある。

本事業は、キャンプチームの更なる誘致拡大を図るため、受入市町村の新たな創出に取り組み、キャンプ実施希望クラブの受入を行うことで、キャンプ開催地としてのブランドを強化し、サッカーキャンプを目的とした来訪者の増加、経済効果の向上及び地域の活性化を目指す。

受入グラウンドの創出支援事業

本事業において、サッカーキャンプの受入可能なグラウンドの創出支援として1施設を集中管理し、サッカーキャンプの誘致実現に努める事業を実施している。

令和4年度については、うるま市具志川多種目球技場Bコートにおいて本事業を実践した。選定理由としては、グラウンドにクラブハウスを建設した事で、サッカーキャンプの誘致や施設の利活用において、芝生を整備する事で更なる効果を期待できる施設と判断されたためである。



平成30年度に同施設のAコートにて創出支援を実施したが、令和4年度については、Bコートにて実施する事とした。



Bコート^{※1}の整備においては、野球場の内野が絡む事から、うるま市と調整のうえ芝生化する事から作業を開始した。クラブハウス建設後については、工事において裸地化したクラブハウスの周囲部分の芝生化も進めつつ、全体的な整備を進め、品質を均一に保つための作業を実施した。



※1シャッターリング作業や※2コアリング作業を実施する事で、土壤硬度の緩和や排水の改善に努めた。また、土壤調査データを活用する事で、科学的根拠に基づいた適切な養分の施肥を実施する事に努めた。

- ※1シャッターリング作業…土壤を揺さぶりほぐす作業の事
- ※2コアリング作業…芝生の床土の土壤を抜き取る作業の事



秋季には、※3ウィンターオーバーシーディングを施し、サッカーキャンプ実施の準備とした。

本事業を活用した事で、FC町田ゼルビア、大宮アルディージャのキャンプを実施する事ができた。また地元クラブの沖縄SVもAコートにて施設を同時利用する事ができ、課題であったキャンプ期間中の地元クラブの練習場所の確保も解決できた。

※3ウィンターオーバーシーディング…暖地型芝草の上に、秋季に寒地型芝草（ペレニアルライグラスなど）の種子を播種して、秋季から春季に常緑を保ち、ターフのクッション性、プレーコンディション、美観を確保する管理手法のこと。

巡回支援事業（県内各施設）

県内各施設を巡回し支援していく、巡回支援事業において、例年と同様にサッカーキャンプを実施する全ての施設において、土壌調査、クオリティ調査を実施させて頂いた。このデータを各施設の管理に役立てて頂きたい。



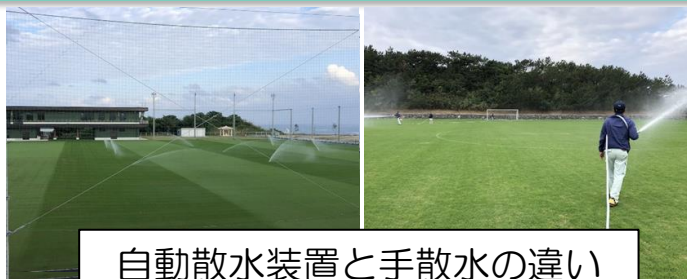
土壌調査



クオリティ調査

課題

練習や練習試合の際に散水を求められる事から対応が課題と言える。スプリンクラー設備が完備されている施設は問題ないが、設備がない施設は手散水による対応となるため、労力が大きく対応が困難となる。設備の設置が急務と言える。



自動散水装置と手散水の違い

沖縄サッカーキャンプ2023

2023年1～2月にて、県内各地でサッカーキャンプが実施された。



糸満市西崎陸上競技場



中城村ごさまる陸上競技場



かいぎんフィールド国頭

今年度は3年振りに有観客でキャンプが実施され、トレーニングマッチ時には大勢の観客が見られた。完全に集客が戻った訳ではないが、活気のあるキャンプとなった。

◇ 令和4年度サッカーキャンプ誘致戦略推進事業 ◇
(受入市町村促進事業)

発注者：沖縄県文化観光スポーツ部スポーツ振興課
沖縄県那覇市泉崎1丁目2番2号
TEL 098-866-2708
受託者：東洋グリーン株式会社 沖縄営業所
沖縄県島尻郡八重瀬町字伊覇144-2
TEL 098-840-7617